

オバマ大統領広島訪問〈気候変動と核戦争可能性〉。

2016/5/28

大統領8年最後に広島訪問の目的＝核戦争可能性の世界警告！！、下記(1)を読むと模範生の抽象を窮めたような具象皆無の検閲明白な作文、人類命運を決する気候変動、科学者圧倒的支持があれば何でもやると声明したオバマだが、今後世界を見通せば最終破滅が待つだけの世界？！。

(1)オバマ大統領の広島スピーチ(和訳全文)

http://www.huffingtonpost.jp/2016/05/27/obama-begins-visit-to-hiroshima_n_10160172.html

私が生きている間にこの目的は達成できないかもしれません。

(2)ビル・クリントン政権の政策を好戦的なものに変えたヒラリーは核戦争を始めかねないとする声

<http://plaza.rakuten.co.jp/condor33/diary/201605270000/>

ヒラリー・クリントンはアメリカの好戦派、嫌露派と深く結びつき、今は大金持ちである。支配層の内部にも彼女が大統領になることを懸念している人がいるだろう。通常戦争でアメリカ／NATO はロシアに勝てないという分析はシリアでの戦闘を見ると説得力がある。そうなると、戦争で負けられないアメリカの好戦派は核戦争を始める可能性があるということだ。世界にとって最悪の事態はヒラリー・クリントンの大統領就任であり、「極右」のドナルド・トランプではない。電子メールの問題が注目されている一因はここにある。

(3)核先制攻撃を目論んできた米国と一体化することになる集団的自衛権は核戦争への参加を意味する

<http://plaza.rakuten.co.jp/condor33/diary/201605110001/>

アメリカやイスラエルは核兵器を恫喝の道具として使ってきた。その核兵器の開発にアメリカのバラク・オバマ大統領は積極的で、今後 30 年間に 9000 億ドルから 1 兆ドルを投入する計画を打ち出している。

(4)大戦後、米国の好戦派はソ連／ロシアや中国に対する先制核攻撃を計画し続け、日本はその道具

<http://plaza.rakuten.co.jp/condor33/diary/201605030001/>

この後もアメリカは先制核攻撃を目論んでいる。2006 年にキール・リーバーとダリル・プレスはフォーリン・アフェアーズ誌(CFR／外交問題評議会が発行)で、ロシアと中国の長距離核兵器をアメリカの先制第 1 撃で破壊できると書いている。つまり、核戦争になってもかまわないという認識だが、これが間違いだということ はシリアやウクライナで示された。それでも開戦で脅しているのがアメリカの好戦派。「狂犬戦略」ではなく、本当に狂犬化しているのかもしれない。

The Rise of U.S. Nuclear Primacy

<https://www.foreignaffairs.com/articles/united-states/2006-03-01/rise-us-nuclear-primacy>

(5)核廃絶宣言でノーベル賞をもらったオバマが広島訪問へ：3.11地震津波発生の直前まで米国で地下核実験が3回も行われたことをなぜ、オバマはあえて公表したのか？

http://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot/35942700.html

アンチ米戦争屋のオバマは、3.11地震津波に核兵器が使用されたことを日本人に黙示しようとしていた

(6)現世界情勢と初米黒人大統領最終年の内心。

悪評高い2001/9/11テロ自作秘密テロと後の中東侵略戦争で地に落ちた米国白人極右のブッシュ政権後の米国を救済する後継大統領は世界戦争に無発動のアフリカ系人で国内的にも世界的米国嫌悪緩和の計算が働いたのだろう。然るに自分に相談なしに3/11テロ地震を米ナチ再生勢力が日本にやっちゃって、その静かなレジスタンスが上記でなかろうか。初の黒人大統領になってみたものの、強力な参謀指導を欠いた国民運動(organizing America)は不成功に、今後世界を制する気候変動でも経済凋落の内政でも今ひとつ決定打が出来なかった、自分後の世界混乱が見えたオバマが最後に懸念したのが世界核戦争であっておかしくない(大統領には常時核ボタンのカバンが随行、広島さえも)。

(7)気候変動隠滅としての最終核戦争<ナチロックフェラ総統の最終決戦作戦>。

筆者はこの問題を過去に再々指摘してきた。と言うのもネット世界論評では気候変動無視が主流、軍事問題とこれを絡める論評は稀だ。主流メディアでは全く話にならない。

石油屋ロックフェラー EXXON-MOBILは大昔から気候変動隠蔽ではその財力権力-諜報機関や広告宣伝機関を世界行使して隠蔽に絶大な影響を与え、今の無視の世界体制を樹立した。

だが今後時間が経過すればどうにもこうにも隠蔽しようがない現実が誰にも見えてしまう。究極が食糧等の生存資源飢渴に伴う混乱紛争地獄の拡大だろう、醜悪な世界が実現する、戦前戦中の日本では昭和天皇は現人神だったが、現米国帝王も実はそれに近い権威体制。すなわち国体維持～現資本主義支配体制の徹底維持であり、世界革命許さずと言う姿勢。ヒトラーに拠れば極東の実験国成果が後に欧米に施工されると言う。核戦争可能性は米大統領が本当に抑止権力かどうかがわからない事だ。地震兵器はナチ勢力の私戦争。ロシアプーチン大統領も気候変動無視の石油屋で、現状実態は自殺決意なのだろう。

(8)オバマ後の米国と世界。

ロックフェラ家のお上=マダムヒラリーが大統領になれば終わりでしょう(2)(3)(4)。

気候科学者全員、又は同等権威の緊急世界声明があれば救済開始せざるうえない。